情報公開文章（オプトアウト）

2026 年 5 月 15 日第 1 版

山口県立総合医療センター 臨床工学部では、院長の許可のもとで臨床研究倫理審査委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。
研究の対象となる方（または代理人）で、この研究についてくわしくお知りになりたい場合、この研究に情報を利用されることを望まれない場合にはご連絡ください。
情報の利用を拒否された場合でも、診療上の不利益を受けることはありません。

【研究名称】

心臓 3D マッピングデータに基づく解剖学的対応関係を保持した 2 次元展開法と心内興奮伝搬様式の症例間比較法の検討

【研究の実施体制】

研究責任者：山口県立総合医療センター　臨床工学部　調　慧一　電話：0835-22-4411（代表）
研究協力者：山口県立総合医療センター　循環器内科　上山　剛

【研究の概要】

●目的：本研究の目的は、カテーテルアブレーション時に利用される心内 3D マッピングデータを用いて、心内興奮伝搬様式を患者間で比較可能な 2 次元形式で表現する手法を検討することです。3D マッピングデータを解剖学的な対応関係を保ちながら 2 次元に展開することで、興奮の開始部位、伝搬方向、局所的に遅延した領域を一目で確認しやすくし、症例間比較や治療前後の変化の把握に役立つ可能性を検討します。また、興奮伝搬パターンの比較、アブレーション前後での伝導の変化、再発例に共通する特徴等を探索します。
●研究方法：当院で実施されたカテーテルアブレーションにおいて取得済みの 3D マッピン

グデータから、心内形状データ、カテーテルで取得された各測定点の位置情報、局所興奮時間、電位情報、心内心電図波形などの電気生理学的情報を抽出します。これらの情報からプログラミング言語を用いて、解剖学的対応関係を保持した状態で2次元平面上へ展開し、局所興奮時間を色調や等時線などで表示するアルゴリズムを設計・開発します。本研究は、既存情報のみを用いる後ろ向き観察研究です。

●研究期間：院長による研究実施許可日～2035年12月31日

●研究対象とする期間：2024年10月21日～2026年4月30日

●対象となる方：当院においてCARTOシステム※を用いたカテーテルアブレーションを施行された患者様

※CARTOシステム：専用のカテーテル及び機器と連動し、不整脈の診断及び治療をサポートするJohnson&Johnson社の3Dマッピングシステム。

●研究対象者数：280人

●インフォームド・コンセントを受ける手続き：オプトアウト

●研究に利用する試料、情報等について以下の情報を収集します。

CARTO3 ver8.0以降の3D mapping data（.mesh, .xml, .txt）

※複雑な不整脈の電気的な流れを細かく3D上に可視化した情報を利用します。

●個人情報の取扱い

本研究において取り扱う情報からは、個人を特定できる情報を削除し研究用IDを付与して管理します。研究IDと患者IDを紐づけた電子ファイルは、パスワードをかけた状態で外部から遮断されたPCにおいて厳重に管理します。研究成果を学会や論文で発表する際も、個人が特定できる情報は使用しません。

●臨床研究を実施することにより期待される利益及び不利益

本研究により3Dマッピングデータの比較可能な可視化手法が確立されることで、不整脈診療における病態理解と治療戦略立案への寄与が期待されます。

後ろ向き観察研究なので研究に参加することで、研究対象者に不利益が発生することはありません。

●問い合わせ先（対応時間：平日9：00～17:00）

研究責任者：山口県立総合医療センター　臨床工学部　調　慧一　0835-22-4411（代表）